放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和　6　年　2 月　14 日　　事業所名　Roselle Association CLUB V

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	0	0	活動に必要なスペースを確保している。	
	2	職員の配置数は適切である	6	0	0	適切である	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	2	0		バリアフリーではないため段差などを改良していく。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6	0	0	年間スケジュールを作成し取り組んでいる。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0	0	保護者様の評価表を職員全体で共有し改善に向けてミーティングを行っている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0	0	年に一度、ホームページにて評価の公表を実施している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	5	1	ローゼルグループ内で社内実地指導を行い他の事業所、法人のアドバイスを受けている。	行政機関や他の研修会などに出席し内容を全職員へ伝達している。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0	0	研修修了者による伝達研修や委員会からの全職員へ向けた研修の開催をしている。	各委員会より全職員に向けた研修を開催している。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	0	児童や保護者様、職員より情報を共有しニーズに基づいた計画書作成に努めている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	0	0	サポートノートえいぶるを活用している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	1	0	それぞれの児童1人1人の課題に沿った運動プログラムをMTにて提案している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0	1	月の初めにミーティングにて週案を作成し色々な活動を取り入れている。	曜日によって活動を決めて支援している。月毎に活動を変えて取り組んでいます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	0	0	活動内容を状況に応じて変更して支援を行っている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	0	個別支援会議にて職員全体で情報を共有し児童の特性に応じた計画書の作成に努めている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	1	0	毎朝にブリーフィングを行い確認している。	朝のブリーフィングや支援開始前にそれぞれの配置や役割、支援内容を確認している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	1	0	支援終了後は送迎などの兼ね合いにより、毎朝に職員とブリーフィングを行い、支援の振り返りや改善についての話し合いを行っています。	終業前に振り返りが行えるよう努めていく。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	0	活動日誌やステップ記録をとり支援の見直しに活用している。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	0	0	3ヶ月もしくは6ヶ月ごとにモニタリングを行い目標の達成の確認と見直しを行っている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	6	0	0	児童の療育を最優先に自立支援を行っている。	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	1	0	児童発達責任者及び、保育士や児童指導員の職員も参加している。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	6	0	0	学校への送迎の際に学校の先生へ連絡事項の確認を行っている。また、学校のメール配信を受け取るアプリを活用している。	

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	6	0	0	アレルギーや服薬に関して保護者から情報を共有し連絡体制をとっている。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6	0	0	相談事業所と連携して情報を共有している。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6	0	0	相談事業所と連携して情報を共有している。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	2	0	外部研修等を受講し職員には伝達研修で情報などを共有している。	担当者会議等で助言をいただいています。 各機関との連携を深めていきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	6	0	0	公園活動などで地域の児童との交流があります。	
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	4	1	1	相談支援事業所の協力などで連携しています	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	0	送迎時にその日の活動の様子等をお伝えしています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント･トレーニング等の支援を行っている	4	1	1	保護者より相談がある際にはその都度助言やアドバイスを行っている。	全職員が適切な支援を送れるようにスキルアップしていく。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	1	0	契約時に説明を行い契約内容が変更されるたびに管理者よりお伝えしている。	全職員が保護者様に対して同じ説明ができるよう対応力をつけていく。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	1	0	保護者より相談がある際にはその都度助言やアドバイスを行っている。	全職員が適切な支援を送れるようにスキルアップしていく。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	2	0	保護者会、音楽祭スポーツフェスティバルなどを開催している。	前回の保護者会では保護者同士での交流の時間を持つことができなかったため、次回開催時に交流の場を設ける。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	0	苦情があった際には管理者へ即時報告の連絡体制が取れている。	今年度苦情なし
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0	0	月に一度お便りを作成し活動内容等を保護者様へ発信している。	
	35	個人情報に十分注意している	6	0	0	個人情報は鍵付き書庫へ保管。全職員に秘密保持誓約書を交わしている。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	0	電話やメール、送迎時などを活用してコミュニケーションをとっている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	3	1		音楽祭などで関係機関への呼び込みは行っていたが、人数制限もあり地域住民までの呼び込みまでは至らなかった。（検討していく）
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	2	4	0	マニュアルは整備して定期的に訓練実施している。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	0	年に２回避難訓練を実施しています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	0	虐待防止委員会からの研修や伝達研修を行っています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	0	0	現在、身体拘束の必要な児童はいないが必要な際のマニュアルや保護者の同意を求めるようにしている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	0	0	アレルギー持ちの児童の情報共有は常に行っており、書面での張り出しでいつでも確認できるようにしております。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	1	0	ヒヤリハット報告書を作成し、ブリーフィングや振り返りを行っている。	